

第71期 貸借対照表

(2025年3月31日 現在)

三進工業株式会社

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	5,197,037	流動負債	1,660,207
現金及び預金	900,788	電子記録債務	171,934
受取手形	10,940	買掛金	95,578
電子記録債権	417,215	未払金	348,000
売掛金	722,951	未払費用	61,078
契約資産	349,344	未払法人税等	225,406
有価証券	100,875	契約負債	422,857
棚卸資産	196,089	預り金	64,586
預け金	2,232,638	賞与引当金	228,924
その他の流動資産	274,104	リース債務	17,787
貸倒引当金	△7,910	その他の流動負債	24,051
固定資産	3,873,273	固定負債	684,046
有形固定資産	2,707,862	退職給付引当金	143,009
建物及び付属設備	1,703,630	未払出資金	451,982
構築物	75,678	リース債務	23,425
機械装置	108,490	長期未払金	65,380
車両運搬具	2,275	その他の固定負債	250
器具工具備品	32,615	負債合計	2,344,253
土地	738,968	純資産の部	
建設仮勘定	7,914	株主資本	6,726,057
リース資産	38,289	資本金	50,000
無形固定資産	19,957	資本剰余金	33,682
ソフトウェア	17,679	資本準備金	33,682
その他の無形固定資産	2,277	利益剰余金	6,714,480
投資その他の資産	1,145,453	利益準備金	17,300
出資金	291,183	その他利益剰余金	6,697,180
投資有価証券	513,239	別途積立金	2,210,000
関係会社株式	55,424	繰越利益剰余金	4,487,180
その他投資	69,765	自己株式	△72,105
繰延税金資産	215,840	純資産合計	6,726,057
資産合計	9,070,311	負債・純資産合計	9,070,311

個別注記表

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

ア. 時価のあるもの・・・移動平均法に基づく時価法

イ. 時価のないもの・・・移動平均法に基づく原価法

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）・・・定率法（ただし、1998年4月以降に取得し
建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月以降に取得し
建物附属設備及び構築物は定額法）

②無形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

③リース資産（所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産）
・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と
同一の方法を採用

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 ・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権に
ついて法人税法の規定に基づく法定繰入率により計
上しています。

退職給付引当金 ・・・従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づ
く期末要支給額により計上しています。

賞与引当金 ・・・従業員の賞与支給に備えるため、翌期に支給する見
積額のうち、当期負担分を計上しています。

工事損失引当金 ・・・受注案件の損失に備えるため、当事業年度末の未引
渡案件のうち、損失発生が見込まれ、かつ、その金
額を合理的に見積もることが出来る工事について、
当該損失見込額を引当計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

建設工事に係る収益については、工事の進捗に伴い履行義務が充足されると判断し、
各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割
合により進捗度を測定し収益を認識しております。

製作に係る収益については、製品を引き渡す一時点において、履行義務が充足され顧
客が当該製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識して
おります。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式により処理しています。

2. 1株当たり情報に関する注記	
(1) 1株当たりの純資産額	68,614円34銭
(2) 1株当たりの当期純利益金額又は当期純損失額	5,041円36銭
3. 当期純損益金額	
当期純利益	494,188千円
4. その他の注記	
計算書類は千円未満を切捨てて表示しております。	